

# 文月俳句・短歌集

## 城辺俳句会

椿落ち池に波紋の絶え間なく

旧道で人待ち顔の山桜

草引いて蛙ひよっこり顔を出し

愛犬がチエーンソーこわがり母の日に

息吹いて子供に返るしゃぼん玉

わが思い遂げし石鎚春の峰

のぼり立つ藤波まるで滝のよう

塩味の母に届かぬ豆の飯

## 城辺川柳会

「ひとり」

ひとり静しずかに咲いて誰を待つ

しなやかに投げてピッチャー孤独です

喜怒哀楽一人ひとりの胸の内

追うばかり追われてみたいひとり者

松本 種夫

出口 恵子

倉田美津枝

山田 静代

宮田志賀子

加納 幸子

大浜 紀子

大和田いそ子

男運悪くはないが今ひとり

ひとりでも同行二人の遍路旅

やがて来るひとりの道を掃いておく

ひとりでも頑張つて行く老いの坂

ひとり旅気付いてみれば二十年

父が逝き母はひとりで四苦八苦

ひとりより幸せ皆で分かちあい

ひとりひとりをやさしく守る施設の灯

百代

一會

暁

律子

佐賀

トクエ

能子

栄華

## 新くさの葉短歌会(なすな)

さよならと言えばありがとを常言いし今日はひと言も言わず見つむる

晴天の窓を開ければ朝草を刈りし匂ひの強く入り来る

腕いまだ衰へをらぬと久びさの君の言葉を嬉しく聞きぬ

菜の花の咲く道吾はためらはず朝の散歩のコースに決める

きらきらと煌く春日掬いつつ早苗植えゆく赤い田植機

背を丸め携帯のメール打つ夫の幾度も吾に遣り方を問う

吉田 信保

藤森多摩子

松比良スミ子

高橋千代子

宮下喜久子

河上 明美

## はじめまして。赤ちゃん。

(5月受付分)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

## ご冥福をお祈りします。

(5月受付分)

地区名	亡くなった方	享年
-----	--------	----



※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。